



かわら版

米穀機構 情報部

No. **14**
2009年4月発行

(社)米穀安定供給確保支援機構(米穀機構)情報部
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町15-15
TEL.03-4334-2161 FAX.03-4334-2167

米穀機構情報部では、お米に関する様々な情報をホームページ「米ネット」及び紙媒体により提供しています。その一環として「米穀機構・情報部かわら版」NO.14を発行いたします。今回は、「基本指針(平成21年3月公表)」の参考資料より米の新用途利用をめぐる事情、平成20年産の都道府県別の生産調整の取組状況、平成20年産米の価格の動向、水田フル活用対策について情報提供いたします。

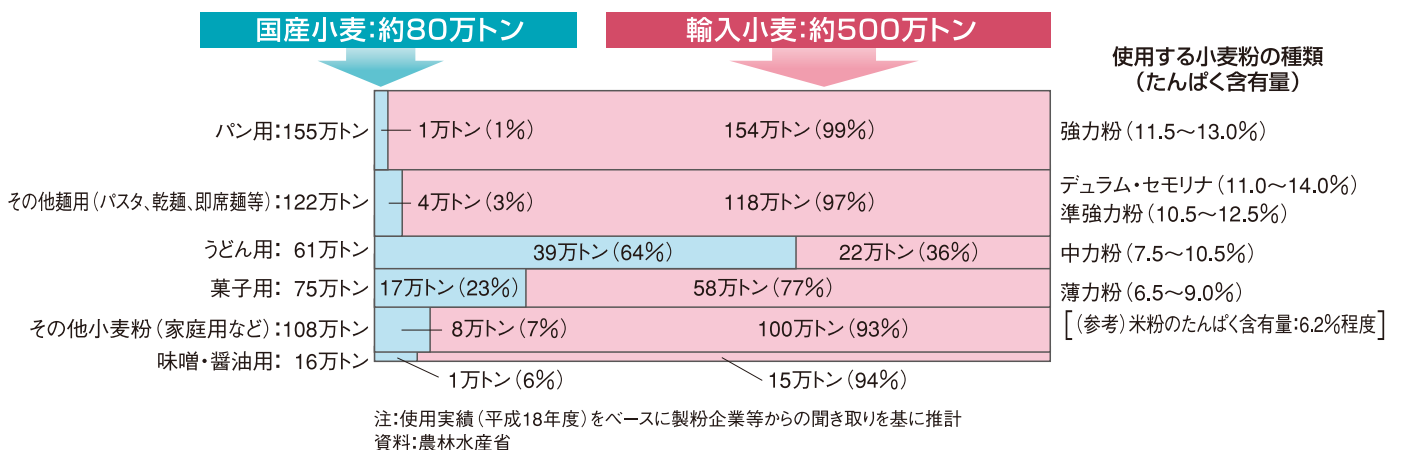
I 米の新用途利用をめぐる事情

1. 食糧用小麦と米粉の利用状況

食糧用小麦の87%を輸入に依存しており、平成18年度の輸入量は約500万トンとなっています。仮にその1割に相当する米粉の利用が行われるとすると50万トンの国産米の需要が拡大します(図表1)。

パン用・麺用等について米粉の利用促進を図っており、これまでの地域・中小企業の取組みに加え、平成20年度からは大手企業も取り組みはじめたことから、原料米使用量は平成20年度推計で約9.5千トンになると予想されます(図表2)。

図表1 食糧用小麦の用途別需要量(平成18年度、推計)



図表2 パン用米粉等の原料米の使用量(玄米ベース)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(推計)
原料米使用量	1千トン	3千トン	3千トン	6千トン	6千トン	9.5千トン

注:20年度の原料米使用量は、20年度の現物弁済米の契約状況見込み及び19年度の米粉用原料米の使用量から推計
資料:地方農政事務所等による聞き取り

用途別使用量

(単位:千トン)

パン用			めん用			洋菓子・その他用			合計		
17年度	18年度	19年度	17年度	18年度	19年度	17年度	18年度	19年度	17年度	18年度	19年度
2	3	3	0	1	1	1	3	3	3	6	6

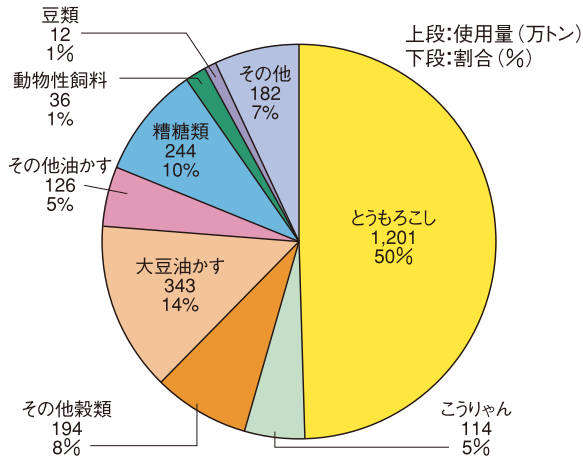
注:ラウンドの関係で合計が一致しない

2. 飼料用とうもろこしと飼料用米の利用状況

配合・混合飼料の原料として使用する輸入穀物の半分の約1,200万トンはとうもろこしです。仮に、その約1割に相当する飼料用米の利用が行われるとすると120万トンの国産米の需要が拡大することになります(図表3)。

飼料用米の作付面積は主食用米の生産調整の取組効果等により、平成16年度以降、年々増加しています。平成20年度には、とうもろこしの国際価格の高騰のほか地域水田農業活性化緊急対策(500億事業)が実施されたこと等により、作付面積は前年の5倍以上の増加となっています(図表4)。

図表3 配合・混合飼料の原料使用量(平成19年度)



図表4 飼料用米の作付面積

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(見込み)
作付面積	44	45	104	292	1,611

資料:農林水産省畜産振興課調べ

単収530kg/10a
で計算すると

約8,500トン

図表5 輸入米の配合飼料原料向け売渡数量の推移

(単位:千トン)

	平成18年度	平成19年度
売渡数量	400	639

資料:農林水産省

II 平成20年産の都道府県別の生産調整の取組状況

平成20年産の生産調整は、平成19年産の過剰作付けの拡大により米価が大幅に下落したことから、行政・農協系統等の関係者が適切に連携しながら、全都道府県・全地域で生産調整目標を達成するよう全力を挙げることにした結果、生産調整目標達成県は、昨年より11県増加し、27都道府県となりました(図表6)。

しかし、依然として目標(1,542千ha)を約5.4万haオーバーしており、さらなる取組みが必要です。

図表6 平成20年産の都道府県別の生産調整の取組状況

都道府県名	生産目標数量 ① トン	実生産量 ② トン	②-① トン	①を面積換算 したもの ③ ha	実作付面積 ④ ha	④-③ ha	都道府県名	生産目標数量 ① トン	実生産量 ② トン	②-① トン	①を面積換算 したもの ③ ha	実作付面積 ④ ha	④-③ ha
全国	8,149,720	8,658,000	508,305	1,542,121	1,596,276	54,200	滋賀	174,810	173,300	▲1,510	33,626	32,698	▲928
北海道	598,930	626,600	27,670	112,286	110,931	▲1,355	京都	80,880	82,000	1,120	15,814	15,720	▲94
青森	267,761	291,400	23,639	46,165	47,690	1,525	大阪	27,980	29,700	1,720	5,661	5,846	184
岩手	295,730	296,400	670	55,459	55,090	▲369	兵庫	193,400	199,300	5,900	38,389	38,370	▲19
宮城	375,480	369,600	▲5,880	70,850	70,790	▲60	奈良	43,630	49,400	5,770	8,506	9,495	988
秋田	474,810	522,500	47,690	82,917	86,816	3,899	和歌山	37,020	39,000	1,980	7,511	7,730	219
山形	381,940	404,100	22,160	64,261	65,531	1,271	鳥取	72,510	72,100	▲410	14,220	13,972	▲248
福島	367,410	435,500	68,090	68,397	80,839	12,443	島根	98,050	98,100	50	19,314	19,204	▲110
茨城	356,250	410,300	54,050	68,479	76,381	7,902	岡山	167,040	184,900	17,860	31,793	33,482	1,689
栃木	321,500	341,300	19,800	59,650	62,457	2,807	広島	138,370	140,100	1,730	26,440	26,042	▲398
群馬	83,270	90,700	7,430	16,858	18,128	1,270	山口	121,870	124,500	2,630	24,135	23,861	▲274
埼玉	161,820	174,800	12,980	32,790	35,605	2,815	徳島	61,510	70,100	8,590	12,989	13,873	884
千葉	263,010	345,500	82,490	49,786	61,791	12,005	香川	76,640	77,700	1,060	15,355	15,190	▲166
東京	930	765	▲165	230	187	▲43	愛媛	79,840	82,300	2,460	16,031	15,656	▲375
神奈川	15,180	16,400	1,220	3,137	3,228	91	高知	52,110	67,000	14,890	11,377	13,579	2,202
新潟	575,000	614,400	39,400	106,903	111,486	4,583	福岡	197,260	196,400	▲860	39,370	39,191	▲179
富山	207,140	211,400	4,260	38,720	38,276	▲444	佐賀	144,940	138,000	▲6,940	27,389	26,732	▲657
石川	133,269	134,900	1,631	25,780	25,618	▲162	長崎	66,340	68,200	1,860	14,002	14,215	(注4) 213
福井	136,330	138,600	2,270	26,370	26,214	▲156	熊本	206,460	205,100	▲1,360	40,088	39,319	▲769
山梨	28,670	28,800	130	5,240	5,253	(注4) 13	大分	127,160	128,700	1,540	25,278	24,829	▲449
長野	206,910	216,200	9,290	33,208	34,107	899	宮崎	103,150	103,700	550	20,955	20,318	▲636
岐阜	121,770	121,500	▲270	24,951	24,767	▲184	鹿児島	120,600	122,500	1,900	25,180	24,895	▲284
静岡	87,430	93,400	5,970	16,736	18,016	1,280	沖縄	3,220	3,160	▲60	1,046	1,010	▲36
愛知	144,370	160,500	16,130	28,455	31,104	2,649							
三重	150,020	157,200	7,180	30,026	30,745	(注4) 719							

注1:生産目標数量は県間調整後の数値。また、生産調整カウントとなる加工用米・新規需要米の取組数量は含まない。

注2:①の面積換算値は、生産調整方針作成者が参加農業者に配分した生産数量目標の面積換算値の積み上げの数値。

注3:③は、統計部公表の水稲作付面積から加工用米・新規需要米の取組面積を控除したもの。

注4:なお、生産調整達成県は、④-③が▲になっている県のほか、出入り作付面積を考慮した場合達成となる山梨県・三重県、さらに主食用以外の用途への事後対策の取組により達成となる長崎県を含めた27都道府県となる。

資料:農林水産省

III 平成20年産米の価格の動向

- 平成20年産米については、契約ベースの相対取引価格を毎月公表しており、ほぼ横這いで推移しています。
- また、平成20年産米のコメ価格センターにおける入札取引価格(1月)は、図表7のとおりとなっています。
 - ① 直近の相対取引価格と比べると高くなっていますが、相対取引価格は大口ロット割引などの商慣行上の値引等を適用した後の価格であるため、実質的に同水準。
 - ② 平成19年産センター通年価格と比べて、全銘柄平均で1,024円/60kg高い。
 - ③ 平成18年産センター通年価格と比べて、全銘柄平均で368円/60kg高い。

図表7 平成20年産米の価格の動向

(単位:円/玄米60kg)

産地	品種銘柄	地域区分	20年産米の相対取引価格						コメ価格センター取引結果					
			20年9月	10月	11月	12月	21年1月	2月	20年産(1月取引)		19年産通年価格		18年産通年価格	
									①	直近の相対価格との差	②	①との差	③	①との差
北海道	きらら397		13,658	13,764	13,546	14,046	13,784	13,865	15,435	+1,570	14,534	+901	14,125	+1,310
北海道	ななつぼし		13,877	13,608	14,127	14,038	13,967	14,342	15,090	+748	14,138	+952	14,065	+1,025
北海道	ほしのゆめ		13,934		13,897	14,124	14,281			-	14,815	-	14,227	-
青森	つがるロマン		13,840	14,139	14,031	13,732	14,490	14,419	15,092	+673	14,155	+937	14,081	+1,011
青森	まっしぐら		13,517	13,830	13,758	13,631	14,204	14,268	14,902	+634	13,708	+1,194		-
青森	むつほまれ			13,591						-	13,641	-	14,048	-
岩手	ひとめぼれ		15,106	14,900	15,276	15,223	15,537	15,238	15,774	+536	14,380	+1,394	15,393	+381
岩手	あきたこまち		14,869	14,753	14,871	14,976	15,008	14,803	15,407	+604	14,170	+1,237	15,132	+275
宮城	ひとめぼれ		14,856	14,839	15,101	14,945	15,410	15,602	15,944	+342	14,458	+1,486	15,507	+437
宮城	ササニシキ		14,914	14,952	15,380				15,984	-	14,691	+1,293	15,500	+484
秋田	あきたこまち		14,892	15,370	15,108	15,097	15,105	15,153	15,722	+569	14,490	+1,232	15,477	+245
山形	はえぬぎ		14,949	14,794	14,851	14,511	14,674	14,591	15,617	+1,026	14,310	+1,307	15,392	+225
山形	コシヒカリ			16,093	16,174	15,815	16,126	15,192		-	15,384	-	16,658	-
福島	コシヒカリ	中通り		15,458	15,300	15,099	15,223	14,884	16,142	+1,258	14,809	+1,333	15,942	+200
福島	コシヒカリ	会津		16,108	16,308	16,122	16,258		16,772	-	15,532	+1,240	16,786	▲14
福島	コシヒカリ	浜通り		15,485	15,428	15,308	15,475		15,932	-	14,640	+1,292	15,735	+197
福島	ひとめぼれ		14,861	14,572	14,727	14,599	14,818	14,317	16,100	+1,783	14,138	+1,962	15,230	+870
茨城	コシヒカリ		15,387	15,256	15,402	15,263	15,431	15,396	15,932	+536	14,443	+1,489	15,724	+208
栃木	コシヒカリ		15,065	15,147	15,194	15,258	15,174	15,120	15,932	+812	14,471	+1,461	15,705	+227
栃木	あさひの夢		13,496	13,445	13,611	13,713		13,679		-	13,326	-	13,493	-
千葉	コシヒカリ		14,803	14,937	15,050	15,194	15,344		15,932	-	14,670	+1,262	15,706	+226
長野	コシヒカリ		15,477	15,690	15,558	15,437	15,660	15,859	16,142	+283	14,821	+1,321	15,923	+219
長野	あきたこまち			14,355	14,303		14,467		15,100	-	14,098	+1,002	14,594	+506

(単位:円/玄米60kg)

産地	品種銘柄	地域区分	20年産米の相対取引価格						コメ価格センター取引結果					
			20年9月	10月	11月	12月	21年1月	2月	20年産(1月取引)		19年産通年価格		18年産通年価格	
									①	直近の相対価格との差	②	①との差	③	①との差
新潟	コシヒカリ	一般	17,577	17,587	17,058	17,075	17,179	17,056	17,507	+451	18,624	▲1,117	18,763	▲1,256
新潟	コシヒカリ	魚沼	24,903	24,949	24,931	25,071	25,091	25,047	25,382	+335	24,864	+518	29,791	▲4,409
新潟	コシヒカリ	岩船	17,869	17,936	17,416	17,472	17,435		17,867	-	18,053	▲186	18,983	▲1,116
新潟	コシヒカリ	佐渡	17,843	17,841	17,381	17,554	17,421		17,935	-	18,440	▲505	19,319	▲1,384
新潟	こしいぶき		14,518	14,557	14,716	14,919	14,923			-	14,567	-	15,448	-
富山	コシヒカリ		15,989	15,907	15,914	15,958	15,978	16,004	16,455	+451	15,413	+1,042	16,437	+18
石川	コシヒカリ		15,498	15,534		15,297	15,193		15,722	-	15,092	+630	16,128	▲406
福井	コシヒカリ		15,658	15,597	15,595		15,586	15,492	16,142	+650	14,937	+1,205	16,195	▲53
福井	ハナエチゼン		14,557	14,512	14,490			14,430	15,092	+662	14,362	+730	14,864	+228
岐阜	コシヒカリ		15,349	15,357	15,473		15,477		15,989	-	14,798	+1,191	15,673	+316
三重	コシヒカリ	一般	15,391	15,229	15,396	15,400	15,429	15,544	15,932	+388	14,560	+1,372	15,683	+249
三重	コシヒカリ	伊賀	15,804			15,901			16,352	-	14,996	+1,356	16,082	+270
滋賀	コシヒカリ		15,166	15,156	15,329	15,319	15,466	15,452	15,932	+480	14,628	+1,304	15,704	+228
滋賀	キヌヒカリ		14,508	14,650	14,744	14,916		14,889	15,407	+518	14,141	+1,266	14,150	+1,257
鳥取	コシヒカリ		15,309	15,022			15,301		15,932	-	14,636	+1,296	15,284	+648
鳥取	ひとめぼれ		14,484	14,386			14,701		15,302	-	14,219	+1,083	落札なし	-
鳥根	コシヒカリ			15,407		15,083	15,487		15,932	-	15,063	+869	15,453	+479
山口	コシヒカリ		15,147						15,722	-	14,696	+1,026	15,389	+333
山口	ヒノヒカリ			14,497						-	14,263	-	落札なし	-
山口	ひとめぼれ		14,475							-	14,044	-	落札なし	-
香川	ヒノヒカリ			14,364	14,664	14,575	14,709		15,254	-	14,307	+947	14,570	+684
福岡	ヒノヒカリ			14,741	14,788	14,786	14,810		15,268	-	14,462	+806	落札なし	-
佐賀	ヒノヒカリ			15,026	15,055		14,700	14,777		-	14,022	-		-
佐賀	夢しずく			15,270		15,190	15,067	14,937	15,544	+607	14,252	+1,292	15,870	▲326
熊本	ヒノヒカリ			14,746		14,928	14,879		16,185	-	14,507	+1,678	15,314	+871
熊本	コシヒカリ		15,539	15,444			15,646		16,168	-	15,568	+600	16,040	+128
熊本	森のくまさん			14,773						-	14,453	-	15,284	-
大分	ヒノヒカリ				15,115	14,731	14,803		15,375	-	14,246	+1,129	15,075	+300
計									16,099	-	15,075	+1,024	15,731	+368

注1:相対取引価格は、①全国出荷団体、②年間の玄米仕入数量が5,000トン以上の道県出荷団体等、③年間の直接販売数量が5,000トン以上の出荷業者と卸売業者等の主食用の相対取引契約(数量と価格が決定した時点を基準としている。)の1等米の数量及び価格(運賃、包装代、消費税相当額を含めた価格。)により加重平均したものである。

注2:コメ価格センターの価格には、包装代、消費税相当額、抛出金(19年産以降20円18年産2円)が含まれている。

資料:農林水産省

IV 水田フル活用対策

わが国の食料需給を考えた場合、持続的な農業生産を維持し、万が一のことがあっても国民の生存に必要な食を提供することができるよう、自給力の維持・向上を図ることが重要です。

一方、国内では主食用米の需要が年々減少してきた結果、水田の約6割で需要を賄える状況になっています。

<参考>国民1人当たりの年間米消費量：昭和37年度 118.3kg → 平成19年度 61.4kg

こうした中で、水田をフル活用して行くことが自給力を維持・向上させて行くために極めて重要であり、麦・大豆等の生産と併せて、米粉・飼料用米の生産を進めて行く必要があります。

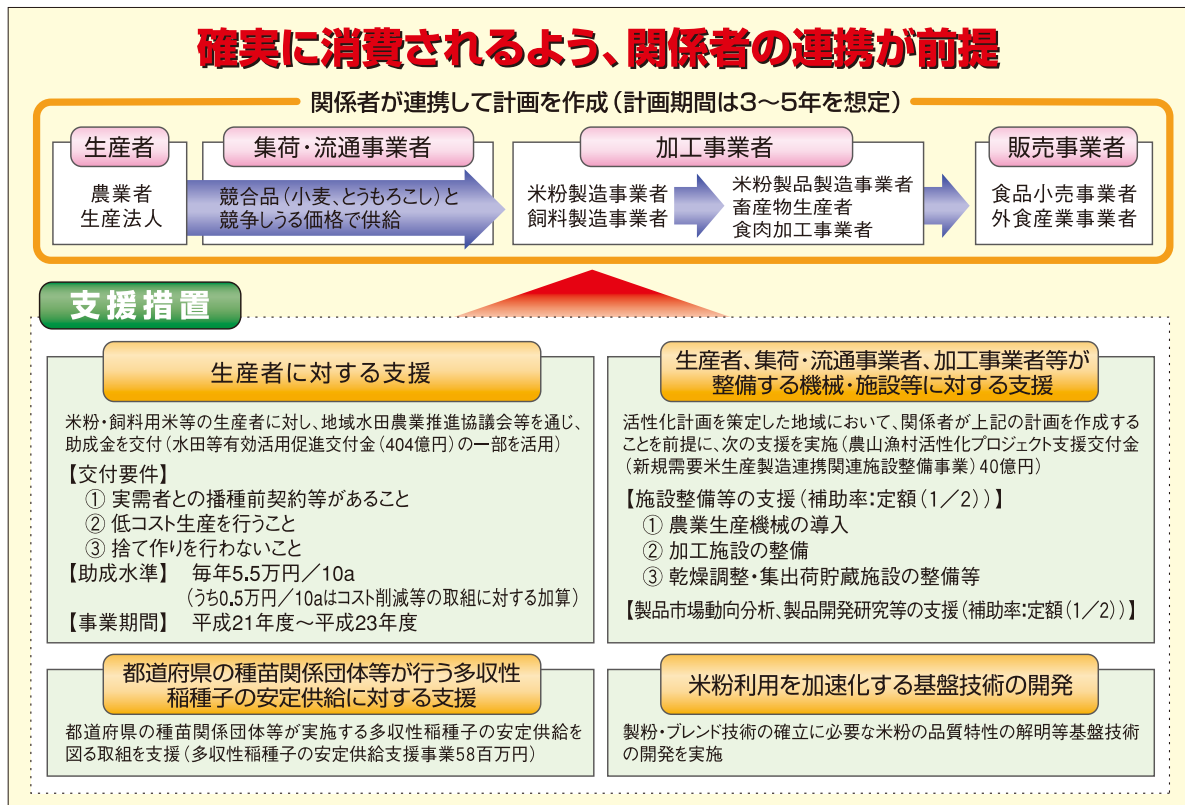
このため、新たに麦・大豆や米粉・飼料用米の生産に取り組む生産者の皆さんに対し、作付面積の拡大に応じ、以下の助成金が国から交付されるとともに、これまでの転作への取組に対しても、引き続き支援が行われます。

大豆、麦、飼料作物 → 3.5万円／10a

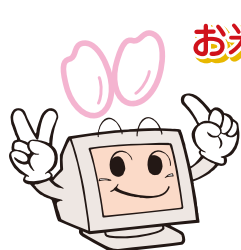
米粉・飼料用米 → 5.5万円／10a

また、関係者が安心して米粉・飼料用米の生産に取り組むことができるようにするため、国は、米粉の製造機械の導入に対する支援を行うなど、米粉・飼料用米の利用促進を図ることとし、関係法令の整備を行っているところです。

<参考>米粉等の定着拡大に向けた支援（平成21年度）



資料：農林水産省



お米・ごはん情報満載のホームページ **米ネット**

米穀機構のホームページ「米ネット」では、お米の価格・消費・生産などの統計データをはじめ、生産者の皆様向けのお米に関する情報やすぐに役立つごはん料理レシピなど最新の情報を常時提供しています。

また、生産者の皆様からの「米ネット」に関するご提案・ご要望をお待ちしております。

「生産者のコーナー」の中の「意見を投稿する」の投稿フォームからEメールをご利用ください。皆様のアクセスをお待ちしています。